

国名(日本語)	<b>ドミニカ国</b>
国名(英語)	<b>Commonwealth of Dominica</b>



国名の由来	ドミニカ島に由来する。「ドミニカ」はスペイン語で「安息日」。コロンブスが到達した日が、サント・ドミンゴ(聖なる日曜日)だったことから命名された。 15世紀末コロンブス来航。その後イギリスとフランスの争奪戦の結果1805年にイギリス領に。1978年イギリス連邦の一員として独立。
国旗の由来	中央にドミニカの国鳥インコ、その周りに10の行政区を表す星が描かれている。赤い円は独立と社会主義を、背景の緑は国土を表す。3色の十字はキリスト教の三位一体(神、キリスト、聖霊)の教義を意味する。また黄色は先住民と太陽を、黒はアフリカ系黒人と大地を、白はヨーロッパ系白人と河川を表している。
1 面積	750平方キロメートル(奄美大島とほぼ同じ)(2014年 世界銀行)
2 人口	7.2万人(2014年 世界銀行)
3 首都	ロゾー
4 言語	英語(公用語)、フランス語系パトワ語
5 宗教	キリスト教(カトリック、プロテスタント等)等
6 豆知識	5つの火山があり、噴気孔や硫黄泉が多い。国土の62%が熱帯原生林で豊かな自然に恵まれ「カリブ海の植物園」といわれる。ハリケーンの通り道にあり、被害をうけることも度々。主産物はバナナ。